

③歴史の広場 現況植栽の評価と方針



① 勾当台通に対しボリュームある緑の景を提供している。交差点部の植込みにより、広場への誘導性と交差点の滞留性を低下させている。



人の動線に配慮しつつ、街に開かれた街角として植込みの改修が求められる。



② 樹形、樹勢が芳しくないため伐採する。



③ 広場の中でアイストップとなり、勾当台通歩道からの目印になる樹形の良いケヤキの大径木。



大木であるため保存する。



⑤ 背景の建物（宮城県庁）の足元を縁取り、南へと連なるボリュームある緑の帯をつくり出している。石垣天端の植栽（つる植物）が単調、彩に欠ける。



石積み天端に草本地被類などを交えた多様で彩ある植栽への改修が求められる。



⑦ 古地図広場のスケールに呼応したボリュームがあり、シンボリックな緑の景をつくり出している。

大きく樹冠を広げた木々により、植栽地全体が暗く、石垣天端も単調な樹種構成となっている。



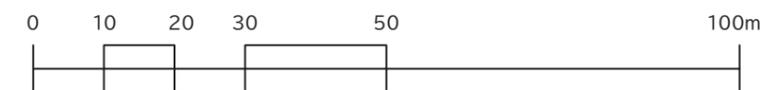
彩りのある花木や実のなる木などを加え、石積み天端も花灌木や草本類などにより多様で彩ある植栽へ改修することが求められる。



④ バス停に対し緑の景を提供し、緩衝帯としての機能を持っているが、石積みが高くサツキー色の単調な植栽。

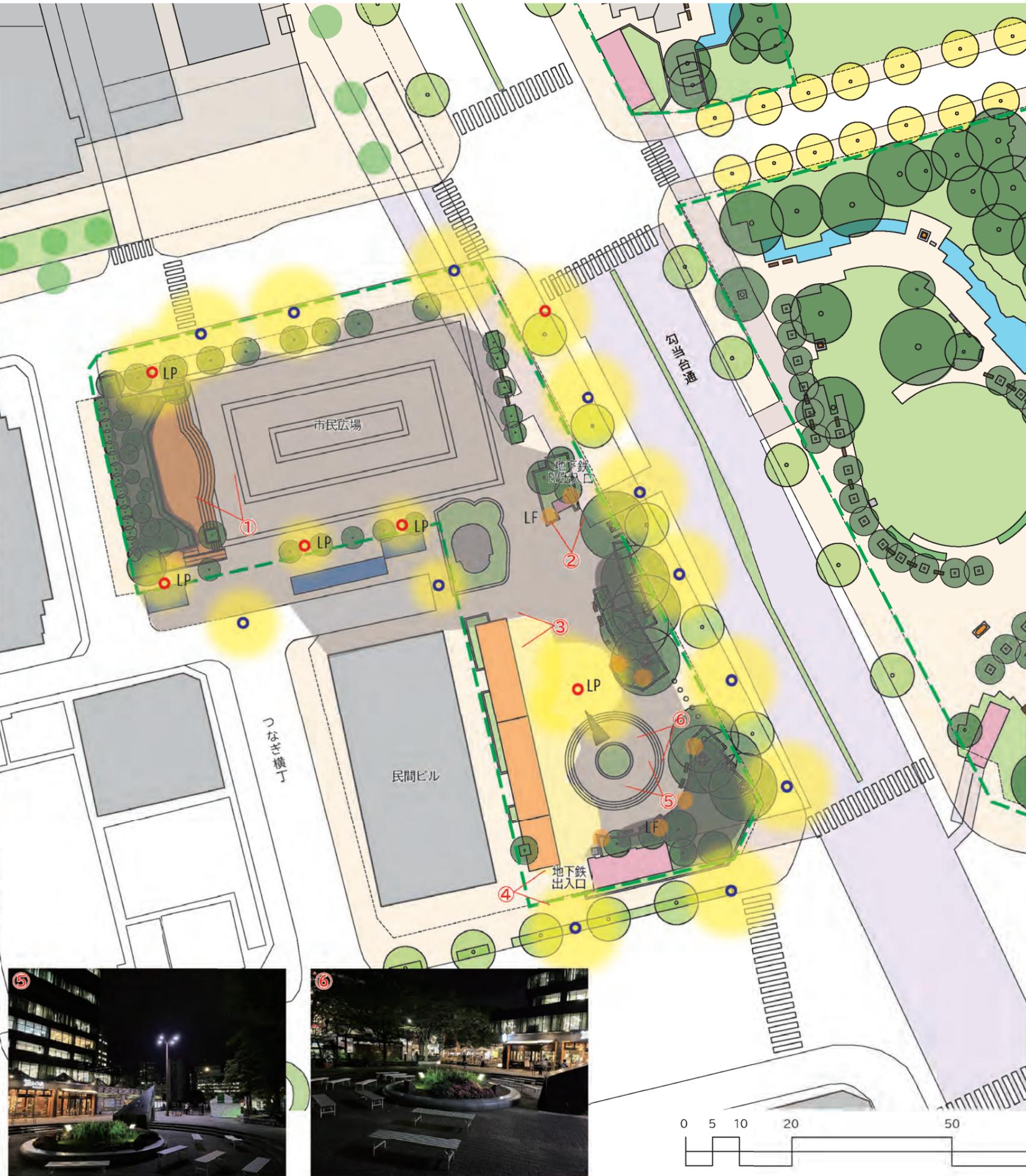


石積み圧迫感を和らげるため、歩道側石積みを低くし天端に草本地被類などを補植した多様で彩ある植栽への改修が求められる。



3-5. 照明施設の現況

①にぎわいの広場 現況照明施設



<周辺からのあかり>

・勾当台通の道路照明及び周辺の建物から漏れ入ってくるあかりがあるが道路沿いの広場は、公園や道路歩道の豊かな緑に遮られ地面までそのあかりが届くことはない。

<公園内のあかり>

・ポール照明 (LP) は直下のみ明るく、全体的に園内は薄暗い。
 ・庭園灯 (LF) は点灯しているが、かすかな灯りで周囲を照らすほどではない。
 ・広場を明るくするポール灯 (4 灯) はカフェ前のみ設置されている。
 ・カフェ前はポール灯とカフェの照明 (室内外) や民間ビルの窓明かりで明るい空間になっている。

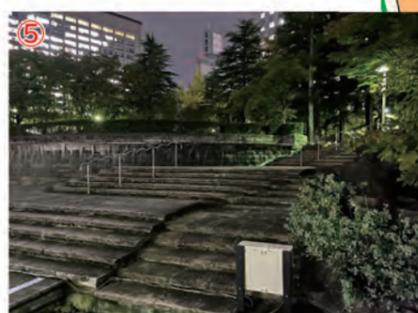
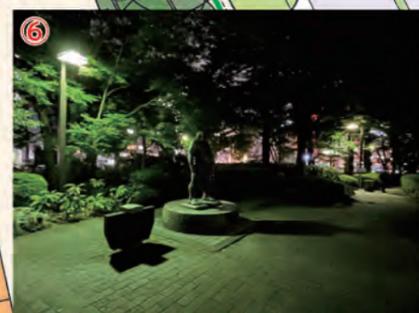
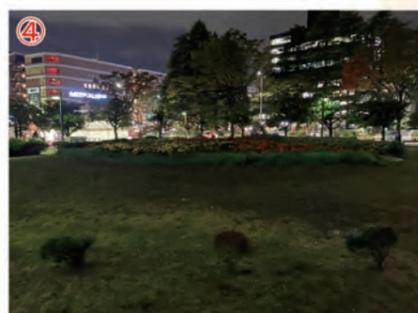
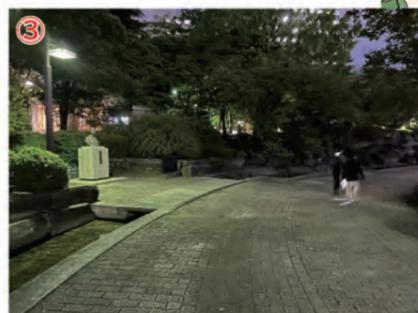
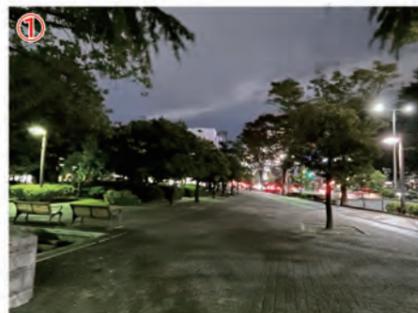
凡例

- 薄暗い場所
- 暗い場所
- ポール灯 (LP)
- フットライト (LF)
- 道路照明 (敷地外)



100m

S=1/800



<周辺からのあかり>

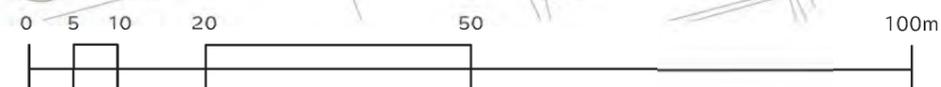
・道路照明及び合同庁舎から漏れ入ってくるあかりがあるが、公園や道路歩道の豊かな緑に遮られ、園内広場や植栽地内までそのあかりが届くことはない。

<公園内のあかり>

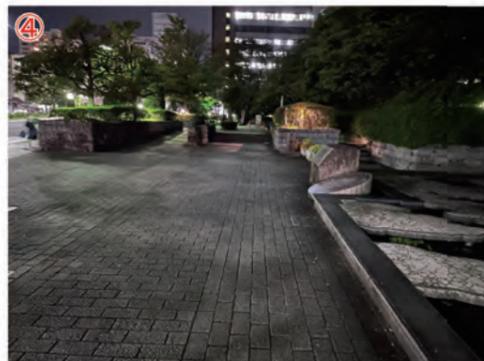
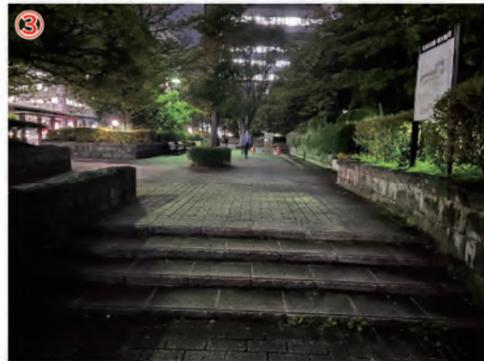
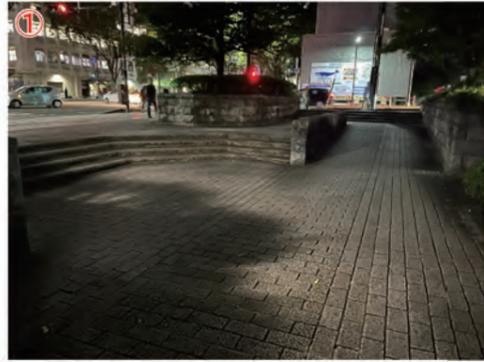
・ポール照明 (LP) は直下のみ明るく、園内は全体的に暗く、特に植栽地 (樹林) は真暗に感じる。
 ・庭園灯 (LF) は点灯しているが、照度が低くまわりを照らすほどではない。
 ・岩組を照らす照明は全て消灯。

凡例

- 薄暗い場所
- 暗い場所
- ポール灯 (LP)
- フットライト (LF)
- 道路照明 (敷地外)



S=1/800



<周辺からのあかり>

- ・勾当台通からの道路照明及び県議会庁舎から漏れ入ってくるあかりがあるが、公園や道路歩道区間の豊かな緑に遮られ広場内（植栽柵がある区間）では、広場内までそのあかりが届くことはない。

<公園内のあかり>

- ・ポール照明 (LP) は下のみスポット的に明るく、全体的に薄暗い。
- ・庭園灯 (LF) は点灯しているが、照度が低く周囲を照らすほどではない。
- ・階段の段差を認識できるほどの明るさはない。
- ・人の近くまで寄りないと顔が見えない。
- ・ライトアップ灯、サーチライトが地下鉄出入口側面にあるが、演出効果はない。

凡例

- 薄暗い場所
- 暗い場所
- ポール灯 (LP)
- フットライト (LF)
- 道路照明 (敷地外)

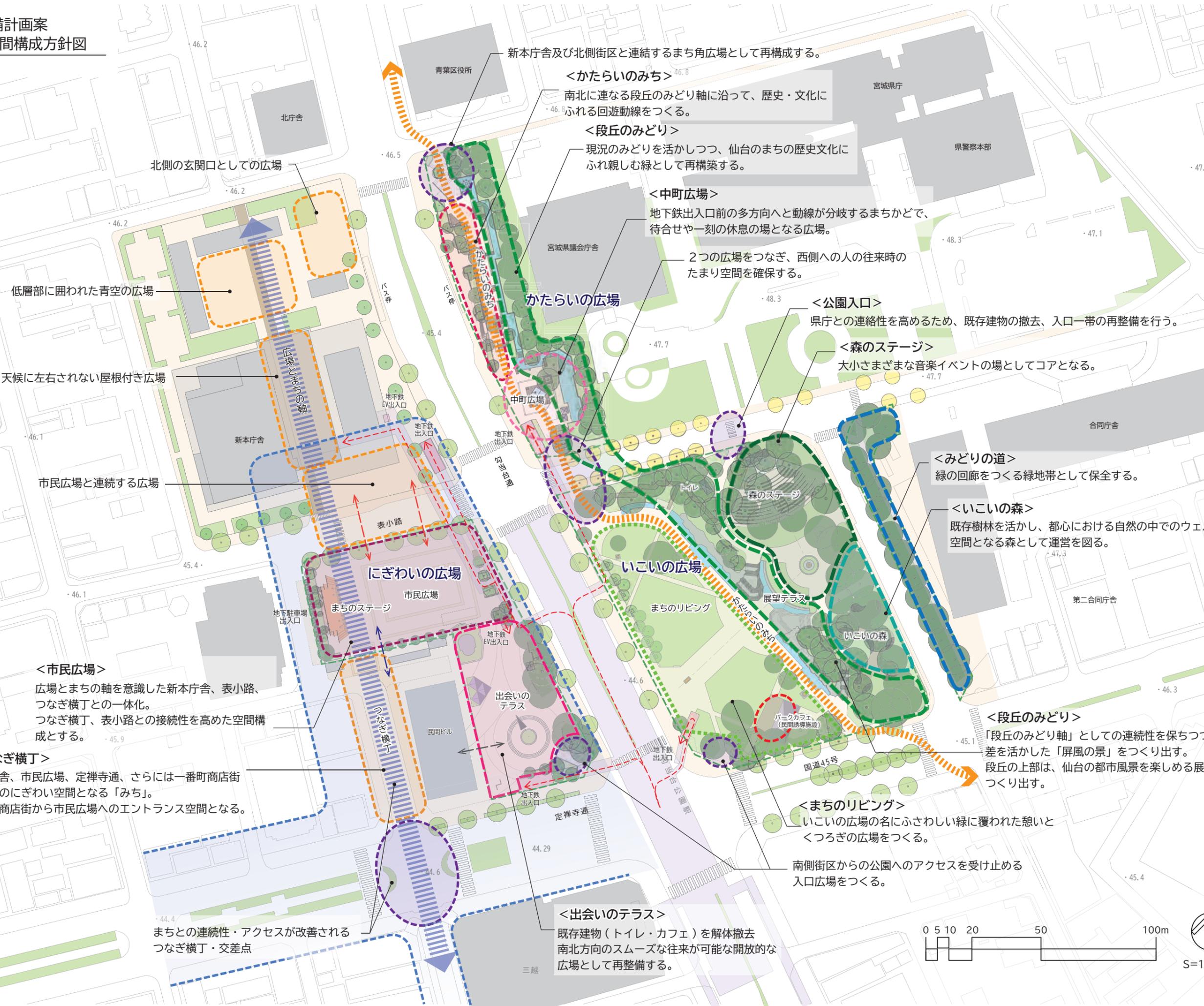
0 5 10 20 50

100m



S=1/800

3-6. 整備計画案
①公園空間構成方針図



新本庁舎及び北側街区と連結するまち角広場として再構成する。

<かたらいのみち>

南北に連なる段丘のみどり軸に沿って、歴史・文化にふれる回遊動線をつくる。

<段丘のみどり>

現況のみどりを活かしつつ、仙台のまちの歴史文化にふれ親しむ緑として再構築する。

<中町広場>

地下鉄出入口前の多方向へと動線が分岐するまちかどで、待合せや一刻の休息の場となる広場。

2つの広場をつなぎ、西側への人の往来時のたまり空間を確保する。

<公園入口>

県庁との連絡性を高めるため、既存建物の撤去、入口一帯の再整備を行う。

<森のステージ>

大小さまざまな音楽イベントの場としてコアとなる。

<みどりの道>

緑の回廊をつくる緑地帯として保全する。

<いこいの森>

既存樹林を活かし、都心における自然の中でのウェルネス空間となる森として運営を図る。

<段丘のみどり>

「段丘のみどり軸」としての連続性を保ちつつ、地形差を活かした「屏風の景」をつくり出す。段丘の上部は、仙台の都市風景を楽しめる展望空間をつくり出す。

<まちのリビング>

いこいの広場の名にふさわしい緑に覆われた憩いとくつろぎの広場をつくる。

南側街区からの公園へのアクセスを受け止める入口広場をつくる。

<出会のテラス>

既存建物（トイレ・カフェ）を解体撤去南北方向のスムーズな往来が可能な開放的な広場として再整備する。

北側の玄関口としての広場

低層部に囲われた青空の広場

天候に左右されない屋根付き広場

市民広場と連続する広場

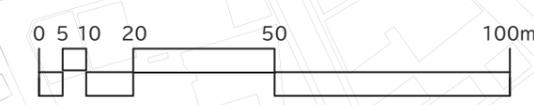
<市民広場>

広場とまちの軸を意識した新本庁舎、表小路、つなぎ横丁との一体化。つなぎ横丁、表小路との接続性を高めた空間構成とする。

<つなぎ横丁>

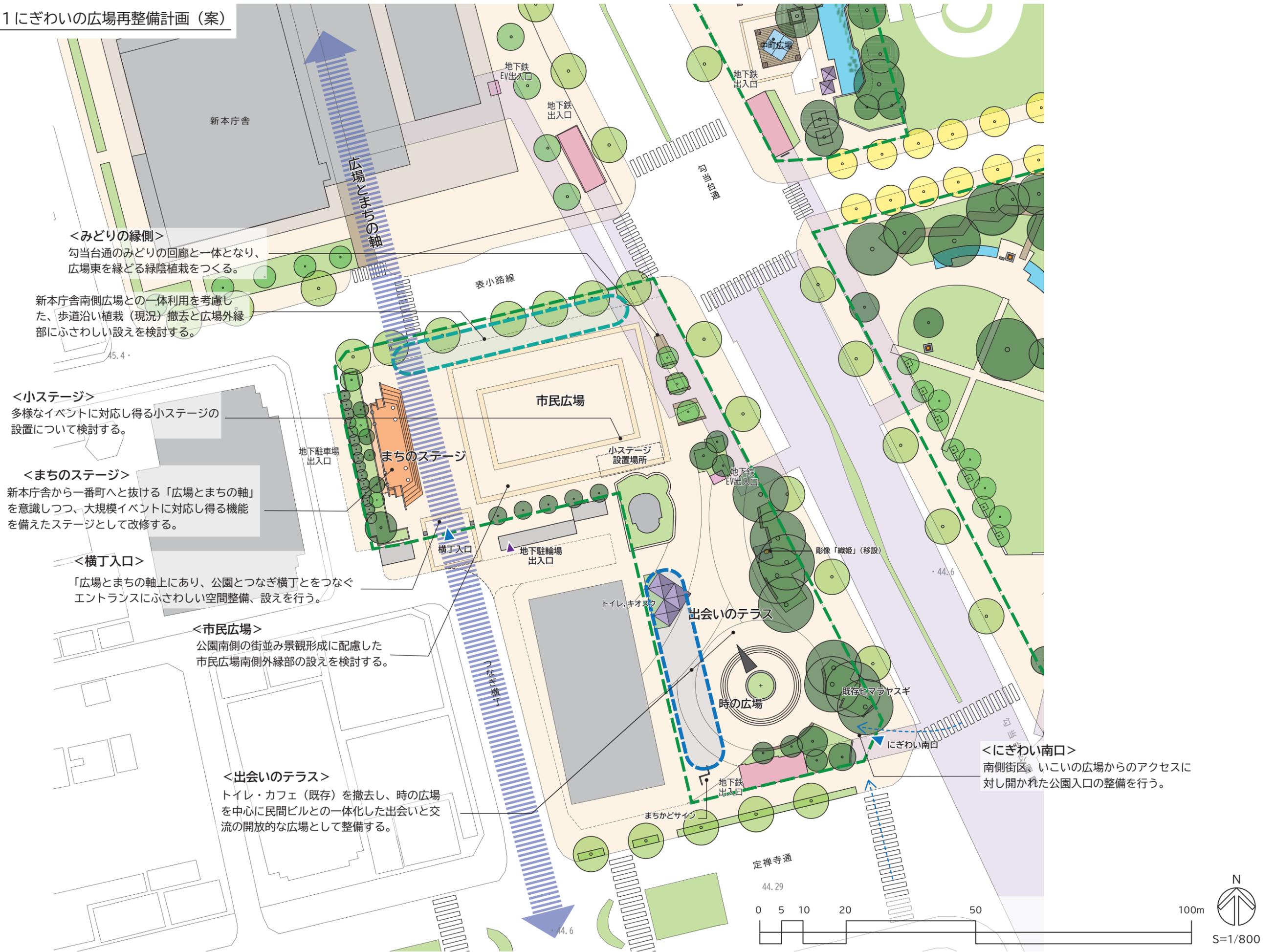
- ・新本庁舎、市民広場、定禅寺通、さらには一番町商店街が1つのにぎわい空間となる「みち」。
- ・一番町商店街から市民広場へのエントランス空間となる。

まちとの連続性・アクセスが改善されるつなぎ横丁・交差点



S=1/1500

②-1 にぎわいの広場再整備計画（案）



<みどりの縁側>

勾当台通のみどりの回廊と一体となり、広場東を縁どる緑陰植栽をつくる。

新本庁舎南側広場との一体利用を考慮した、歩道沿い植栽（現況）撤去と広場外縁部にあふさわしい設えを検討する。

<小ステージ>

多様なイベントに対応し得る小ステージの設置について検討する。

<まちのステージ>

新本庁舎から一番町へと抜ける「広場とまちの軸」を意識しつつ、大規模イベントに対応し得る機能を備えたステージとして改修する。

<横丁入口>

「広場とまちの軸」上にあり、公園とつなぎ横丁とをつなぐエントランスにあふさわしい空間整備、設えを行う。

<市民広場>

公園南側の街並み景観形成に配慮した市民広場南側外縁部の設えを検討する。

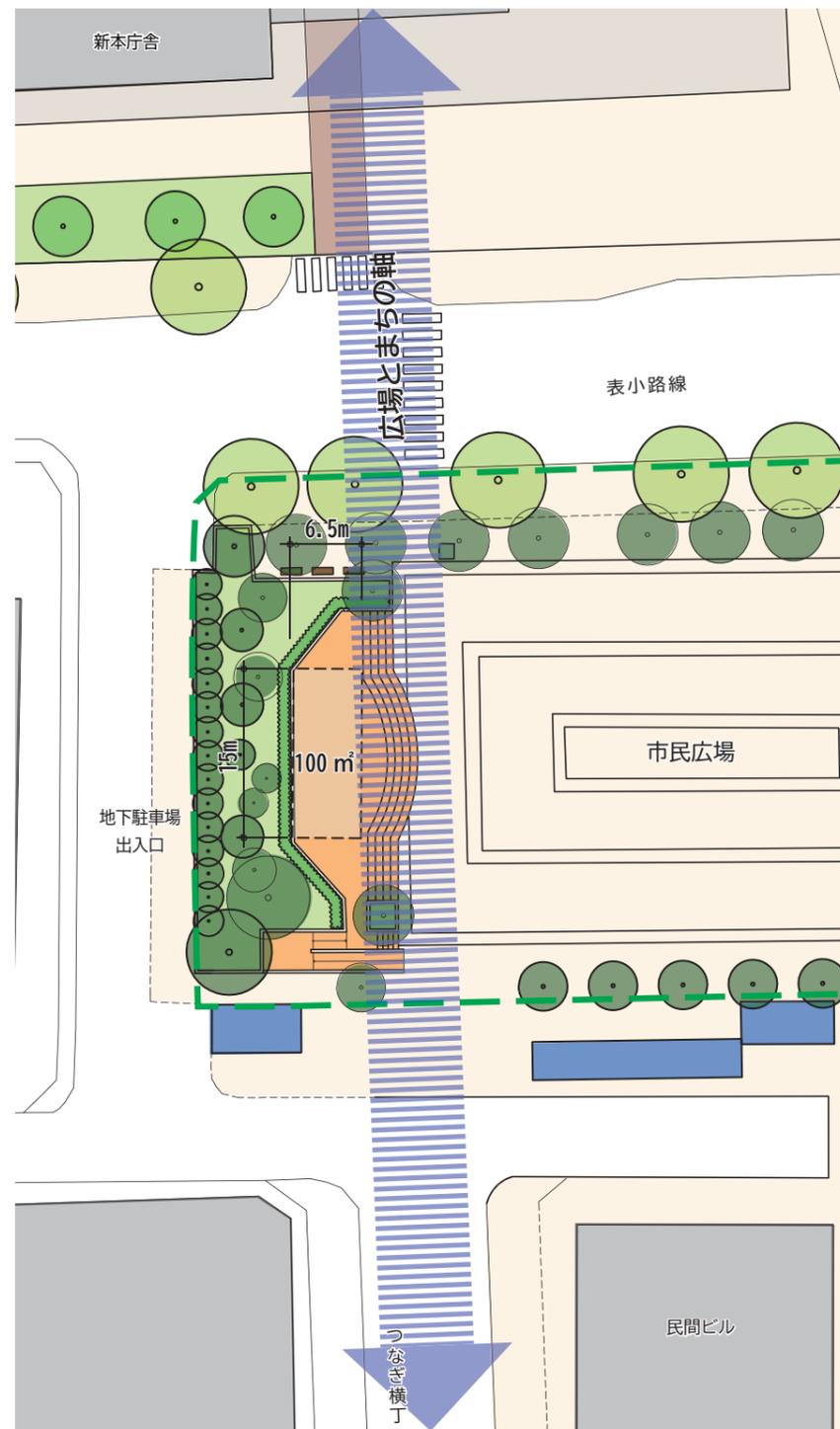
<出会うのテラス>

トイレ・カフェ（既存）を撤去し、時の広場を中心に民間ビルとの一体化した出会いと交流の開放的な広場として整備する。

<にぎわい南口>

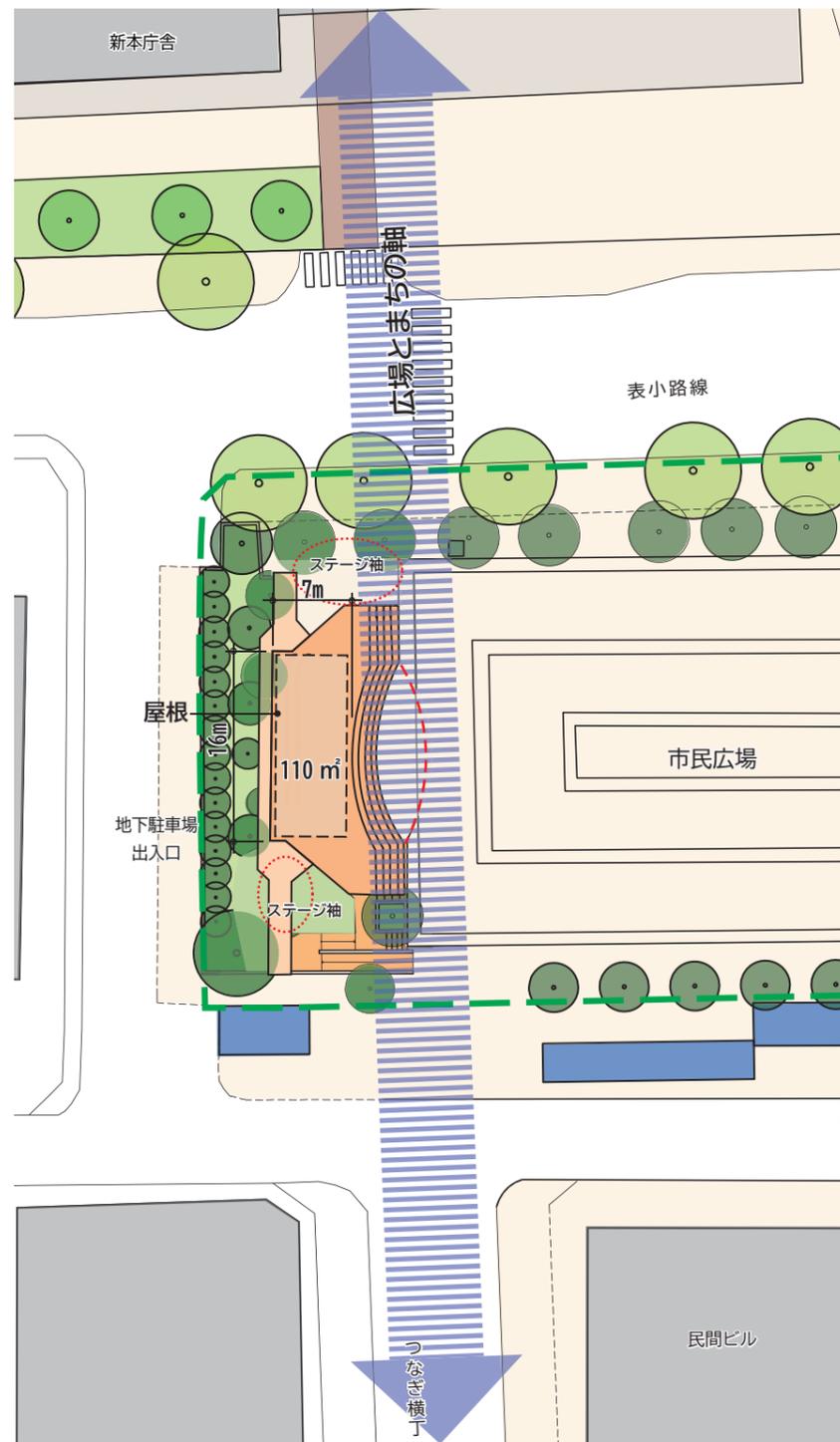
南側街区、いこいの広場からのアクセスに対し開かれた公園入口の整備を行う。

現況



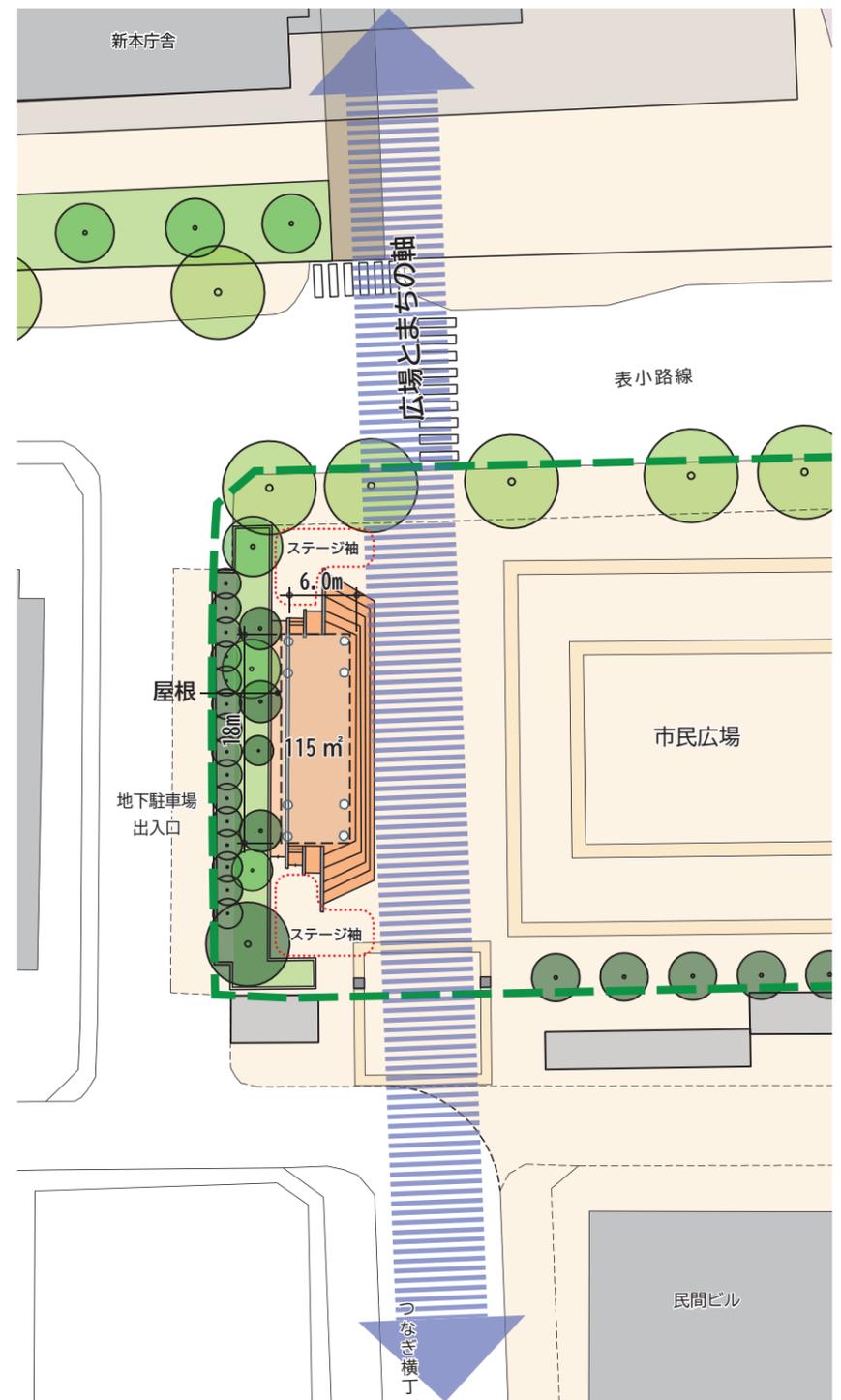
- ・新本庁舎計画で設定された「広場とまちの軸」にステージが重なり、軸の通景が阻害されている。
- ・イベント開催、運営団体からは、ステージ屋根やステージ袖空間の要望がでている。

A案 (ステージ凸部の改修)

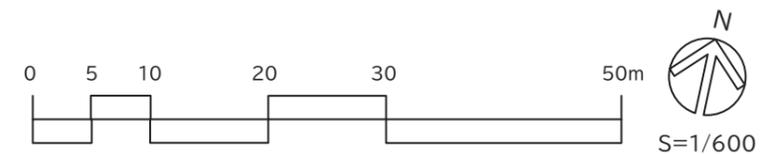


- ・ステージの規模を大きく変えないで、凸部をへこませた形態に変更し、ステージ屋根は極力軸線にかからないよう設置する。
- ・ステージ裏手通路と上手、下手にステージ袖空間を確保する。

B案 (ステージセットバック)

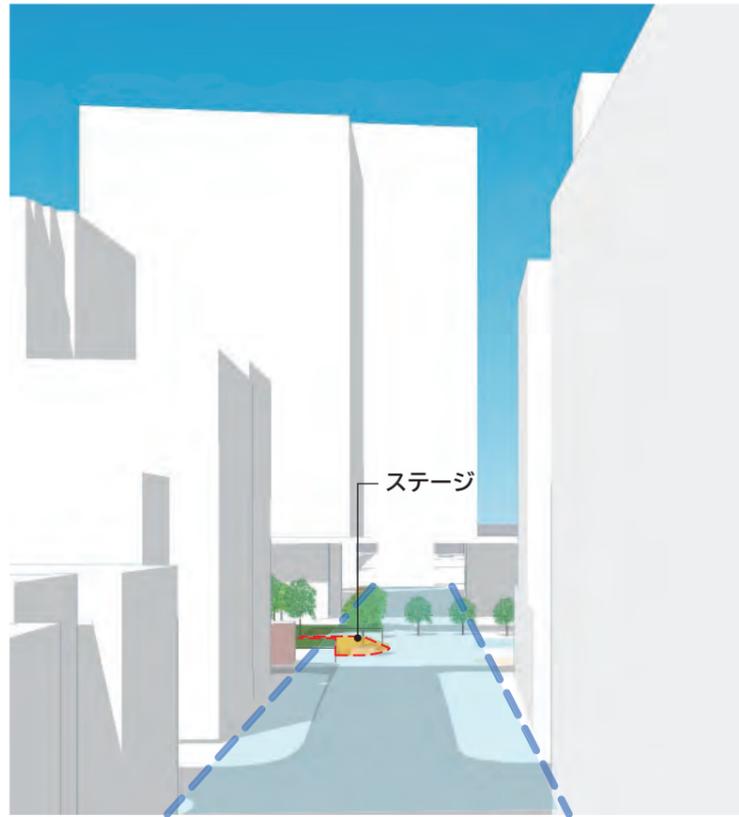


- ・ステージを西側にセットバックし、階段も含め、軸線上にかからないように改修する。
- ・ステージ裏手通路と上手、下手にステージ袖空間を確保する。

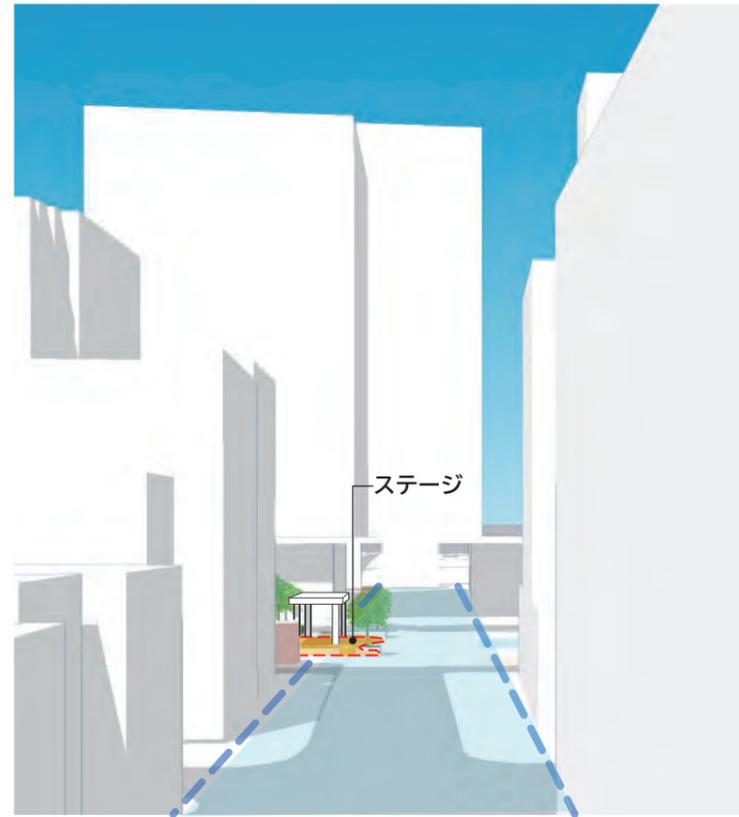


つなぎ横丁から新本庁舎方向

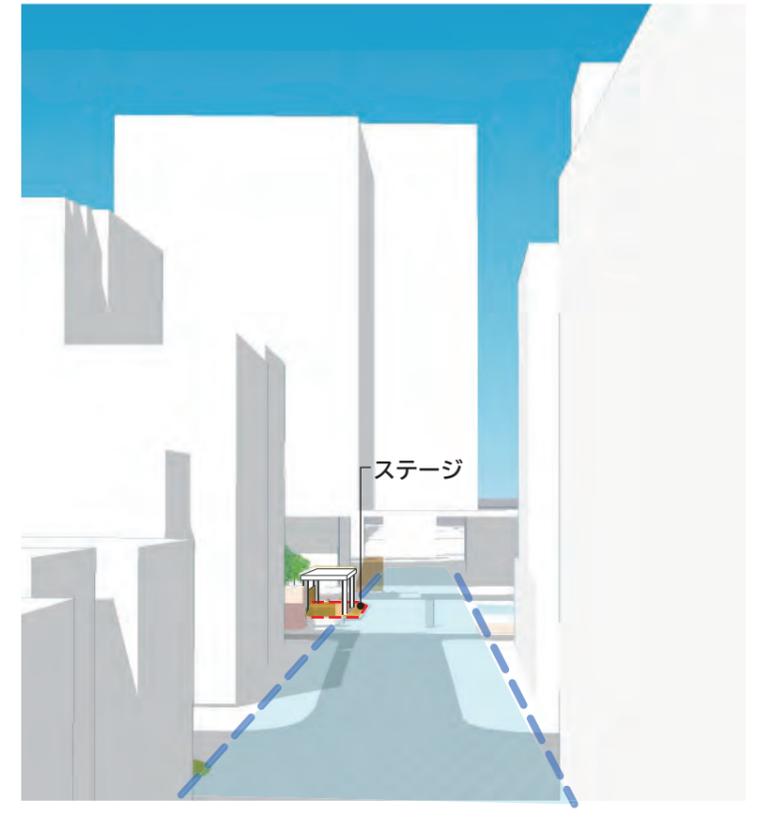
現況



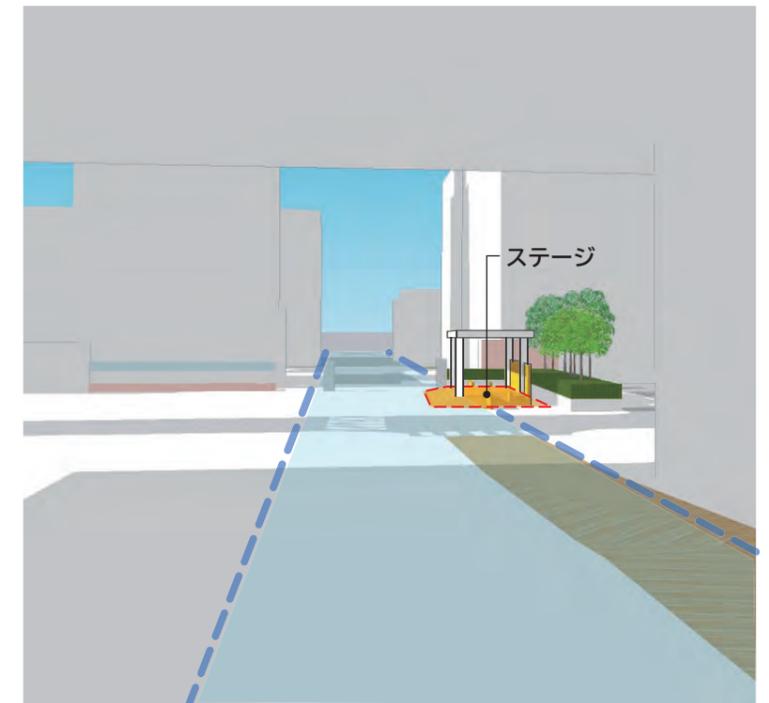
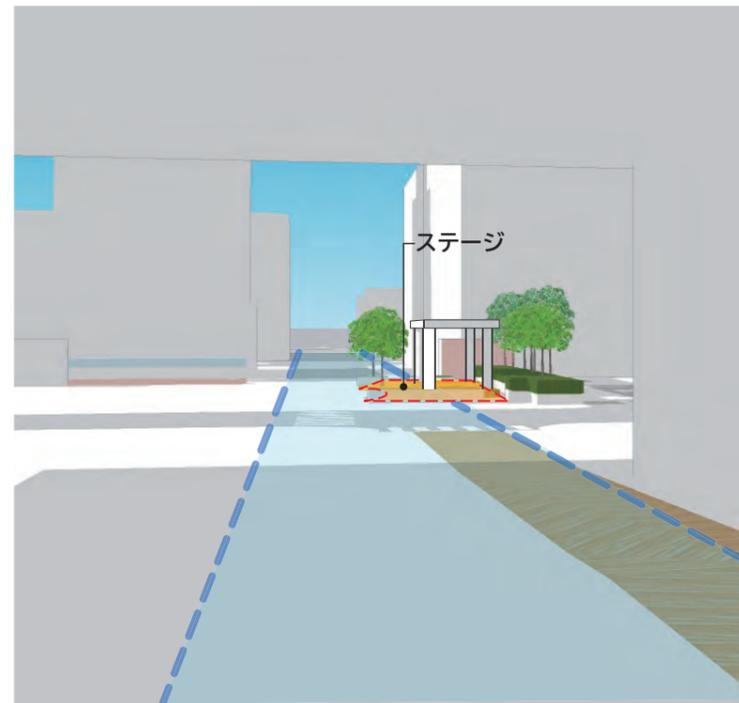
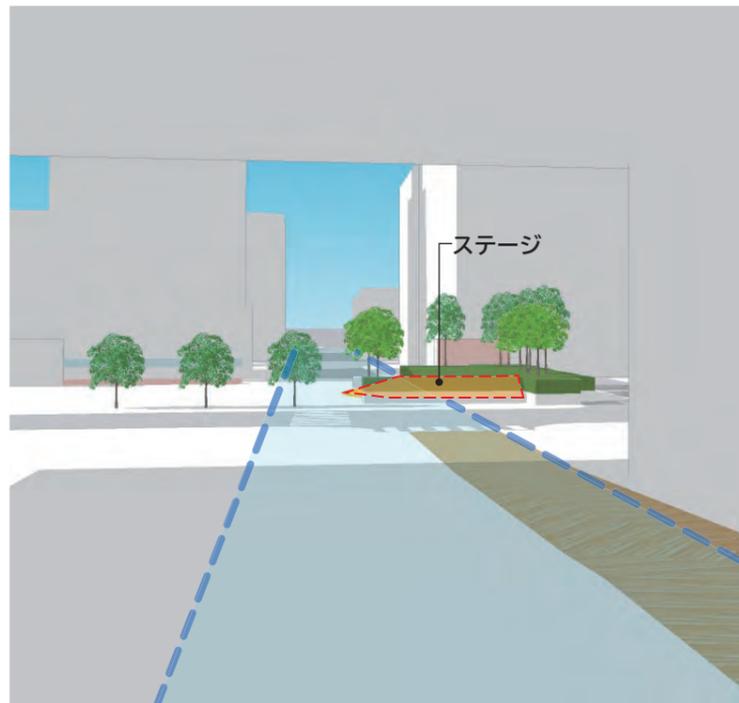
A案(ステージ凸部の改修)



B案(ステージセットバック)

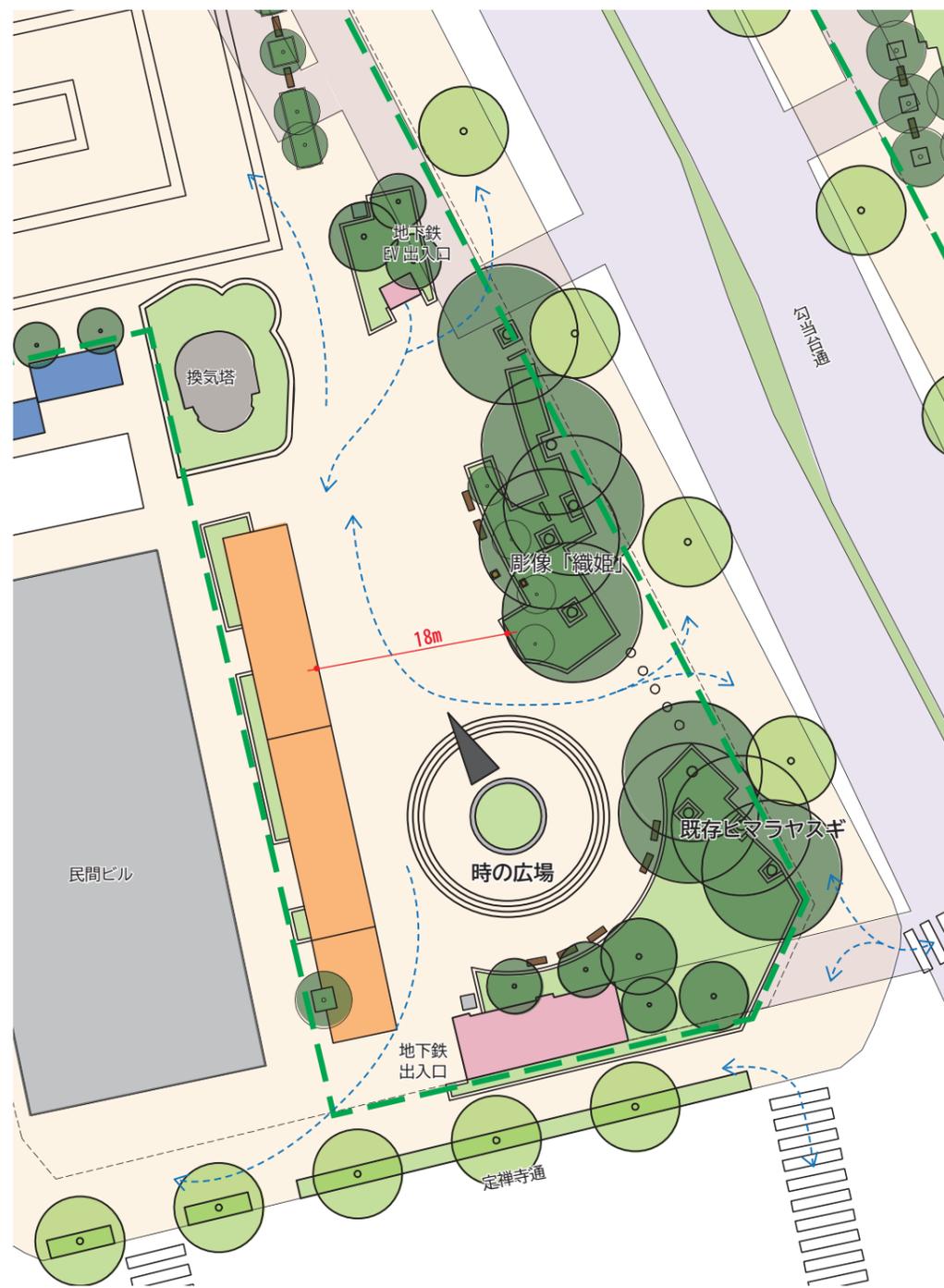


新本庁舎からつなぎ横丁方向

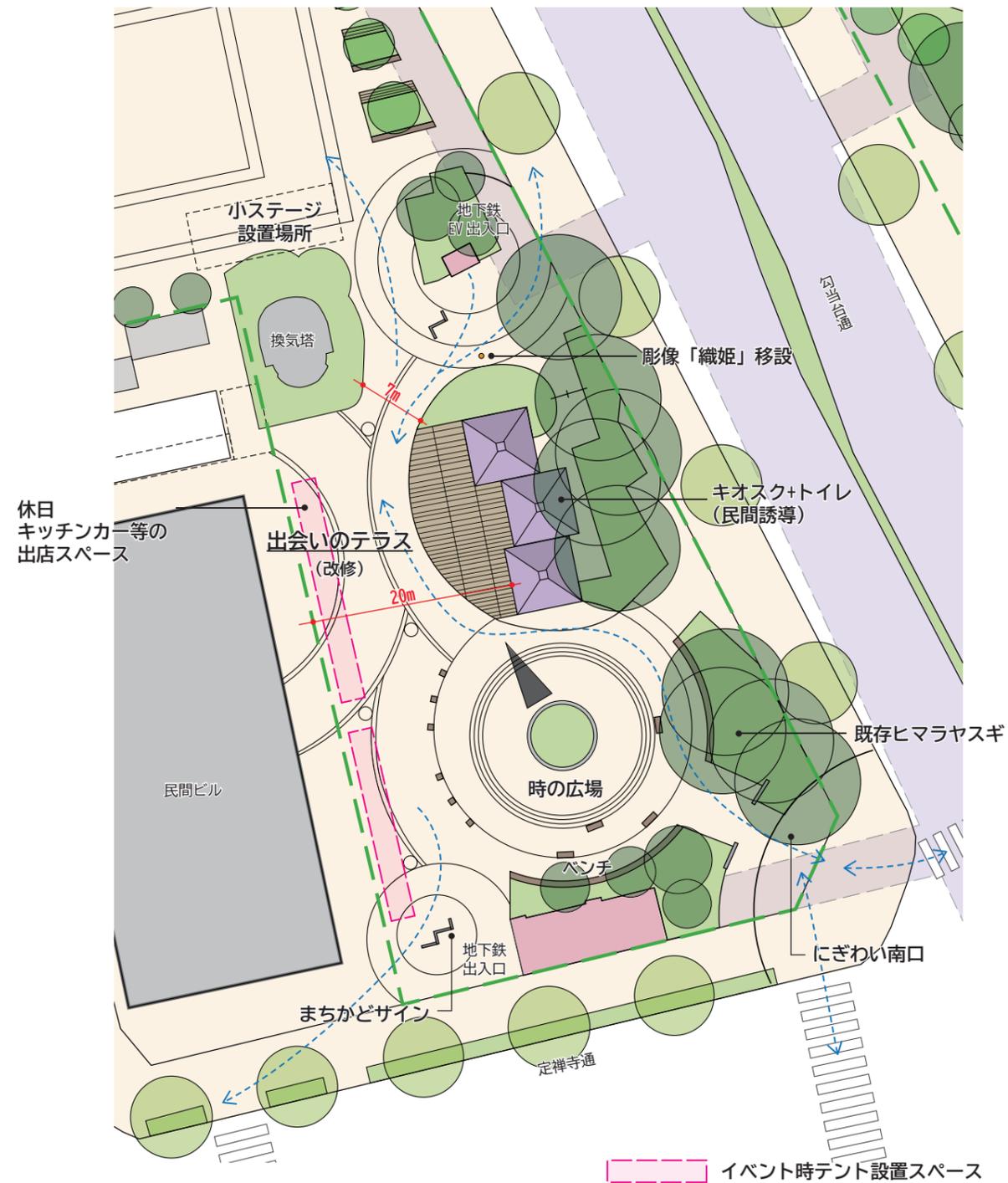


凡例
 広場とまちの軸
 ステージ

現況

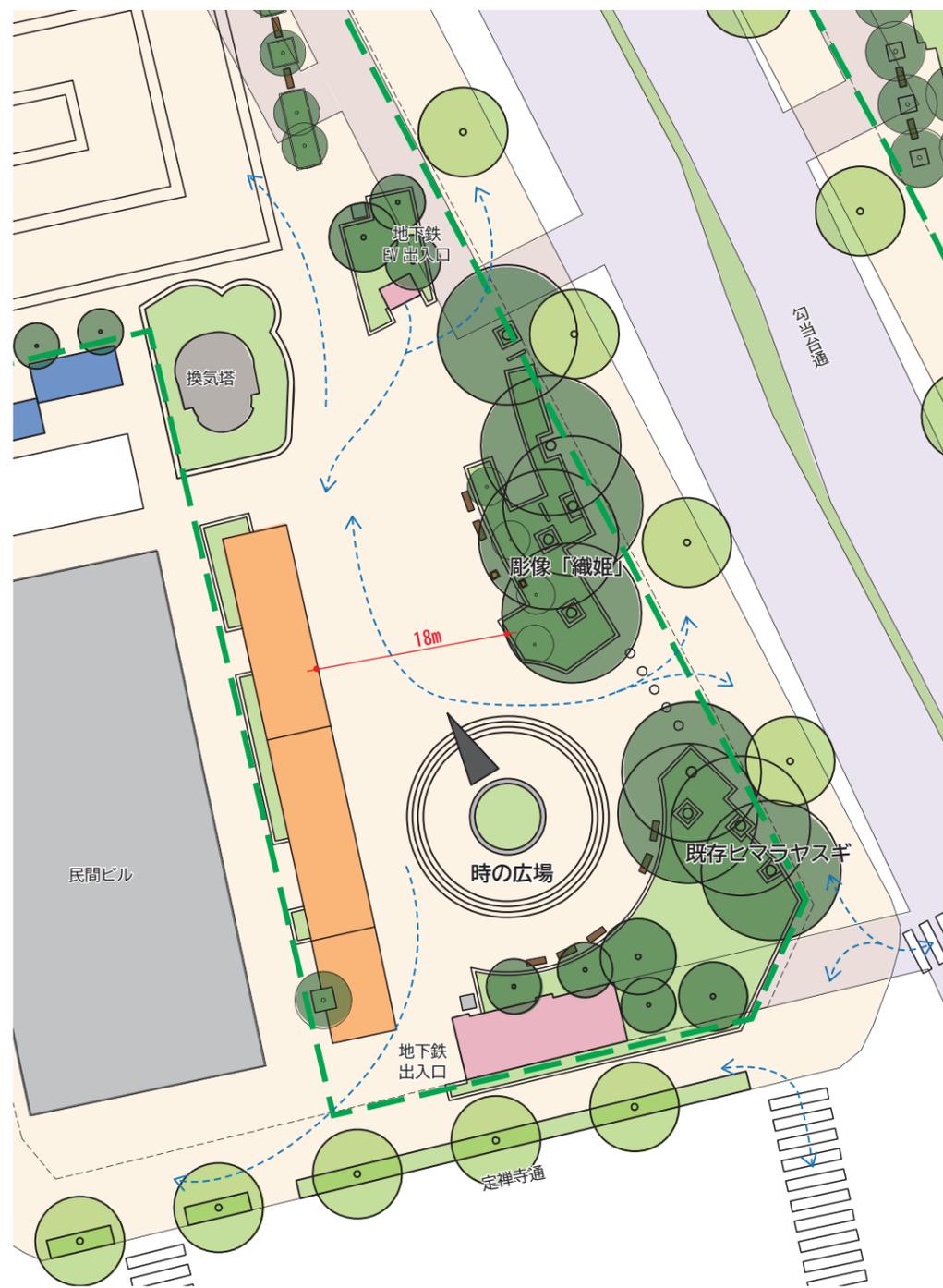


A案 滞留、にぎわい性向上案

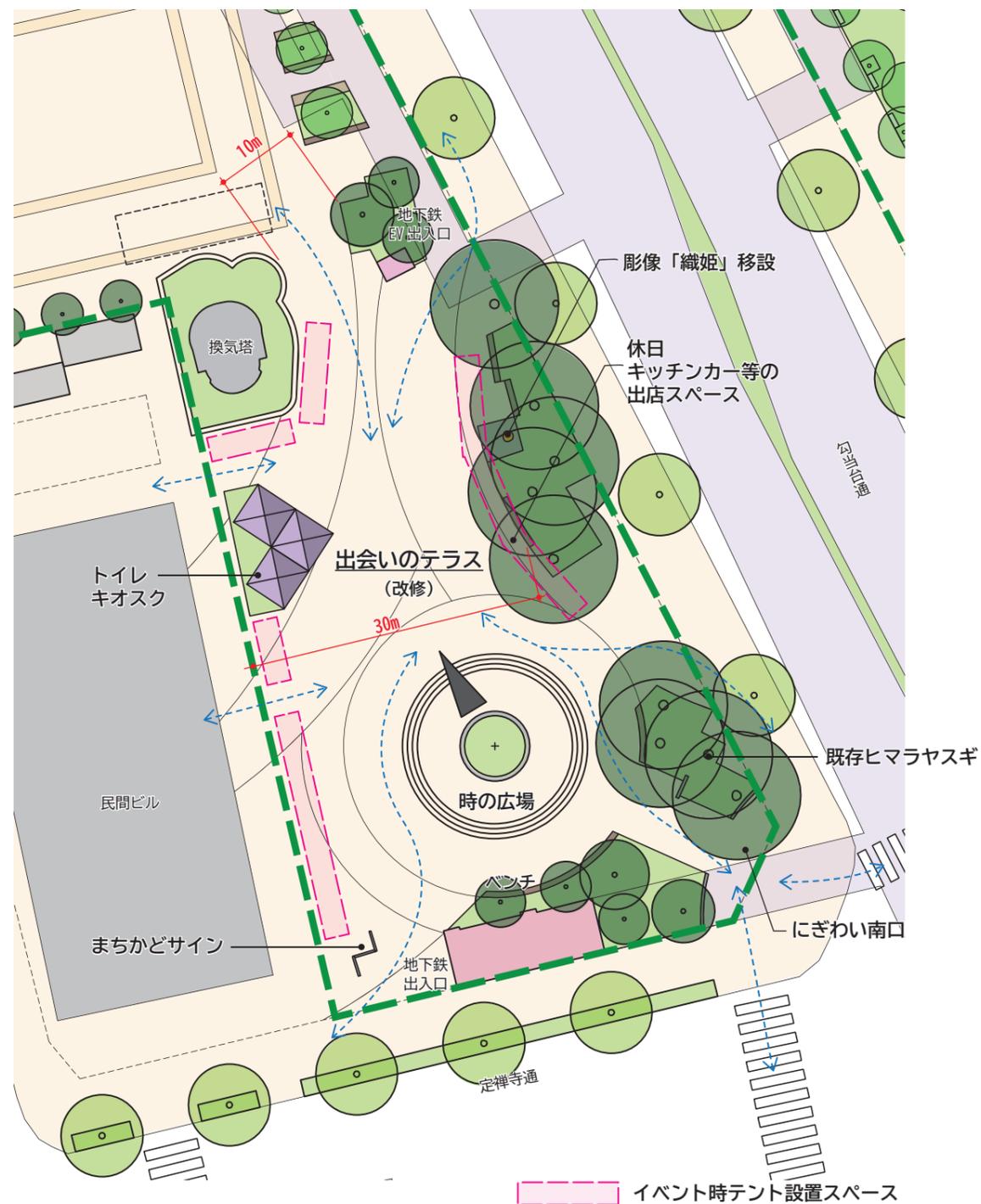


- ・時の広場、キオスク前、地下鉄EV入口など空間を細かく分節化し、それぞれに特徴を出し、多様な滞留空間をつくり出す。
- ・キオスク配置と空間の分節により、定禅寺通から北の市民広場に抜ける活動がスムーズにとれない。
- ・イベント時のテントスペースがとりづらい。
- ・周辺施設と競合が生じないように、キオスクの内容・規模の調整が必要となる。

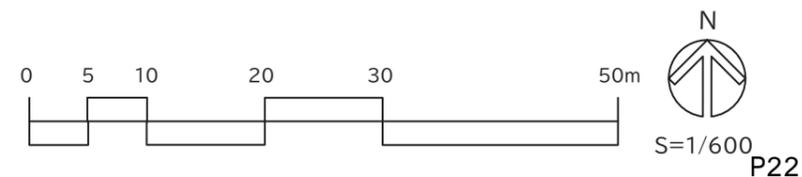
現況



B案 南北動線強化、トイレ・キオスク設置、イベント対応



- ・広場空間を大きく確保し、南側（定禅寺通）から北へのスムーズな動線空間をつくり出す。
- ・平坦で広がりのある空間とし、イベント時の利用や稼働店舗誘致など自由度の高い広場とすることができる。
- ・周辺施設1階出入口、施設構成などについての相互調整がスムーズにできる。
- ・ベンチ設置場所が制限される。



③-1 いこいの広場再整備計画（案）

